

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	・利用時が少ないため今のところ問題は無い。 ・スペースは十分に確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	50%	・基準配置は満たしているが、個別対応が必要な利用児がご利用するときには、職員間で連携を強化して支援している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	84%	16%	・歩行が不安定な児童には、段差があるところは手をつなぐ等の配慮をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	・危険を感じる箇所はすぐに修繕等行って心地よく過ごせる環境設定に努めている。 ・活動内容に合わせて各部屋が効率良く利用できるように配慮されている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	・定期的に話し合いの場を持ったりして業務改善に取り組んでいる。 ・事業会議や事業所内での目標設定、振り返りは行われている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	・現在行っている評価などを把握し、職員間で改善に努めていく。 ・年に1度の評価表の活用、また事業団独自のアンケートも実施した。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	・結果を集計してとりまとめを行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%	・第三者の評価は受けていないが、月に一度地域総合支援センターにて生活相談日を設けている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	84%	16%	・支援補助員に対して、年度の初め頃に基礎的な支援スキルの研修があると良いと思う。 ・WEB研修や内部研修に参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	84%	16%	・児童の現在の様子や課題等について保護者と話し、職員は客観的に分析し、作成している。 ・児発管を中心にモニタリング会議やアセスメントを適切に行い作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	84%	16%	・児童通所全体で同じものを活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	・必要に合わせた計画書を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	・計画に沿った内容で支援を行っている。

	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	・特性を配慮した遊びや活動内容を日々話し合っている。 ・毎月ごとに立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	84%	16%	・発達障がいに対する知識や理解をもっと深めていき、ご利用児が楽しめたり、興味を持って参加できるような活動をもっと考えていかないといけない。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	84%	16%	・できることを増やしたり、伸ばせるような支援計画を作成したい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	・その日のご利用児の様子等も見ながら、役割の変更をしたりして、ご利用児が落ち着いて過ごせるように業務にあたっている。 ・前日、もしくは当日の朝行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	・ご利用児のその日の状況を伝え合ったり、共通した支援の方向性を情報共有している。 ・特記については当日に行うこともあるが、翌日振り返りを行い、情報共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	・記録をとり、問題等あれば、話し合って改善に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	・モニタリングで現在の様子や課題等を話し合いながら見直しの必要があるか見極めている。 ・計画の移行期間に応じて行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	84%	16%	・児童発達支援管理者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	・連携した支援を行えていると思う。 ・支援会議等で情報共有している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	68%	32%	・現在受け入れはしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50%	50%	・保護者から情報を聞くことが多い。 ・現在受け入れはしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	84%	16%	・来年度から幼稚園に入園予定であるため、入園後は必要に応じて情報共有を行っていきたい。 ・見学日を設けるなどして情報共有を積極的に行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	68%	32%	・来年度から幼稚園に入園予定であるため、現在は実施していない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	・自分で研修を探して受けている。 ・年に3回研修の場を設けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	68%	32%	・今のところはない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	84%	16%	・感染症等もあり現在参加していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	・ご利用時にその日の状況等を伝えたり、定期的な懇談会で保護者と話し、共通理解を持っている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	0%	・各市町村へ案内を出し、今年度も2クール開催した。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	・契約時に児発管が説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	・支援計画の説明を行い、保護者の同意をいただいた上でサインをいただいている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	・連絡帳に記載されていた際もすぐに対応し、必要に応じて助言も行っている。 ・保護者通園を行い、保護者との懇談会を設けた。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	68%	32%	・コロナ禍で難しい面もあるが感染症の状況等を見ながら、懇談会や保護者通園を実施している。 ・対象者が1名のため、保護者同士の繋がりは難しかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	・判断が難しい時には上司に相談しながら対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	・文書等で発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	・個人情報が入ったものは持ち帰らない。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	・情報そのものを伝えること以上にどう伝えるかが大切だと思う。 ・個人にあったコミュニケーションを心がけている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	50%	・現在行っていない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	・月1回、避難訓練を行っている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	・契約前の面談時に病歴等も確認している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	・最初の利用時に、保護者に確認している。医師の指示かは確実では無い。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	・職員間で共有し、事故防止に努めている。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	・虐待防止研修を年に1度受けている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	・身体拘束が必要な方には同意書を作成し、保護者にサインをいただいている。